

ご連絡・ご注文はお早めに

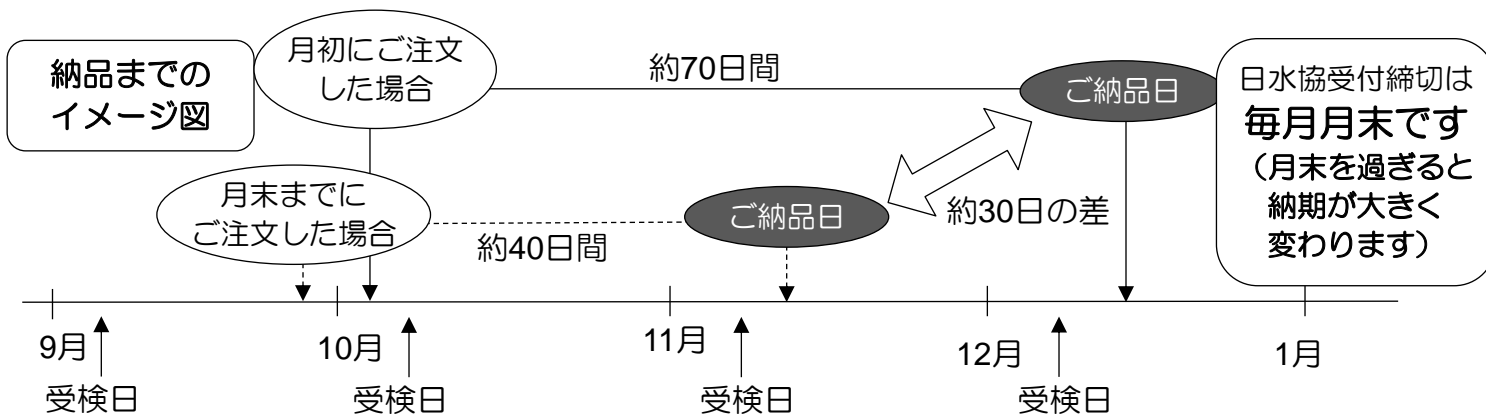
日水協の仕様書受検には納期(最長2ヶ月超)が掛かります!!

これから来年の年度末にかけては役所や水道事業体向けの納入に日本水道協会の仕様書受検の検査証明書を要求されることが多くなります。SMCなど塗装品は2回(原管と製品)の受検が必要になり最大2ヶ月超の納期がかかる場合があります。日水協品に関しては、早めのご連絡・ご注文の程宜しくお願ひします。

日水協の受検申請に必要な書類(月末までに必要な書類)

●承認返却図を月末までにお戻しください。

客先(水道事業体など)に仕様確認をして
その承認(承認印)を貰わないと日水協の受検を受けられません



御社担当の一月



小島 和彦

皆さん こんにちは 小島です。
 今回は通勤途中にあるラーメンこじろう526の話です。
 以前から店の存在は知っていて、なかほか食べに行くことが
 できずにいましたが、先日会社の同僚とやと行くことが
 できました。このラーメンは背脂チャッキ系で、お好みで
 脂、野菜、ニンニク増しなどができます。気合い入れて挑んだ
 のですが、無念にも食べきれず、
 店長にお詫びをして帰りました。
 翌週休みに息子を連れて再度
 挑みました。私も完食しましたが
 息子はもう一杯いけると余裕でした。



◇いよいよ年末モードへ◇

今年も残すところ1ヵ月強となり、年末に向け皆様お忙しい時期をお過ごしかと拝察致します。

今年の事は今年の内にとりきり納めて次なる再始動に備えたいと思います。11月23日と言えば勤労感謝の日です。職場や、家庭で頑張っている人たちを労り、労う日でもあります。優しい気持ちで一言かけてあげたいですね。

さて、先日のメンテナンステクノショー初登場の「グランドフートバルブSG」。地上でイージーメンテが可能で、省エネ可能なフートバルブを特徴とするこの商品で、お客様のお悩みを解決できると確信しております。ご使用の皆様には「約3ヵ月～6ヵ月程度に定期メンテ⇒部品交換が可能」のメリットを体感して頂いております。繁忙期を控え、ご予約案件へのご対応はお早めにお願ひ致します。

いつもご愛顧頂きありがとうございます。



バルブ事業部長 千葉 和典

今月の目次

- ・ご挨拶 (千葉事業部長)
- ・SGのメンテナンスについて
- ・今月の特集 「スモレングランドフートバルブメンテナンス方法」
- ・石崎製作所からの お知らせ 「日水協品の納期について」
- ・担当者の一ヵ月

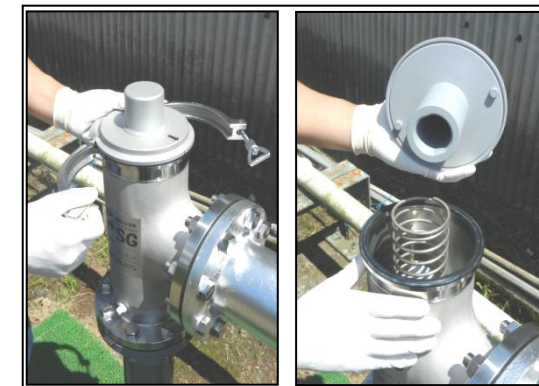
「グランドフートバルブSG」のメンテナンスについて

今年の4月よりグランドフートバルブSGを販売して半年が経過したところですが、約180台の販売実績ができて、多くのお客様よりご支持をいただいております。

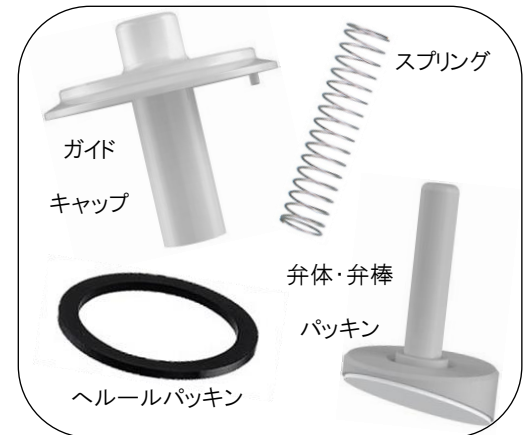
このバルブを設置する最大のメリットは「低損失で省エネ効果があり、部品交換が可能で、短時間でのメンテナンス性」であることから、最近では、お客様より「メンテナンスの頻度は?」「シートパッキンの寿命は?」とのお声をよく聞くようになりました。

弊社では「吸上げ算定サービス」「省エネ算定サービス」を実施していることから、排水、井戸水、海水、河川水、貯水池の水、冷却水など様々な流体条件でのお問い合わせを受けています。また、使用条件・温度・環境など、範囲が広域にわたってしまうため、定期修繕時やポンプの運転を停止するなどのタイミング、3～6ヵ月程度の一定期間を目安にメンテナンスをしていただくことを推奨しています。

最近ではグランドフートバルブSGとともにメンテナンス部品を同時にご購入いただくケースが増えてきています。ポンプ吐出側のチャッキが故障したため、吐出側の配管圧がかかってしまい、内部部品の不具合の発生に至ったケースもあります。フート弁と異なり部品交換ができますので、事前に準備することで生産ラインに影響を与えることなく、地上でメンテナンスが可能となります。是非ともご利用下さい。



グランドフートバルブSGのメンテナンス方法

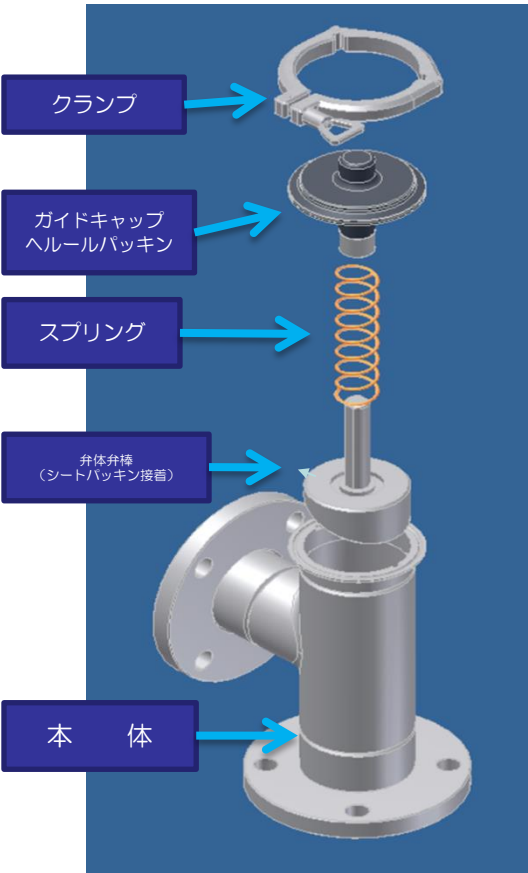


グランドフートバルブSGのメンテナンス部品

スモレンスキグランドフートメンテナンス方法

配管に取り付けた状態のメンテナンス要領

- ① 作動不良：ポンプ起動時・停止時及び通水時の異音発生の確認。
⇒ 異音発生のある場合は、取外し点検。
- ② 弁座漏れ：ポンプ停止時にバルブに耳をあて、流水音の有無確認。
⇒ 流水音がする場合は、取外し点検。
- ③ ポンプ停止時の外部漏れ：ガイドキャップクランプ部の漏れの確認。
⇒ 漏れ発生時は、ヘルールパッキンの交換。



・バルブを分解してのメンテナンス要領

準備頂くもの：ウエス・懐中電灯

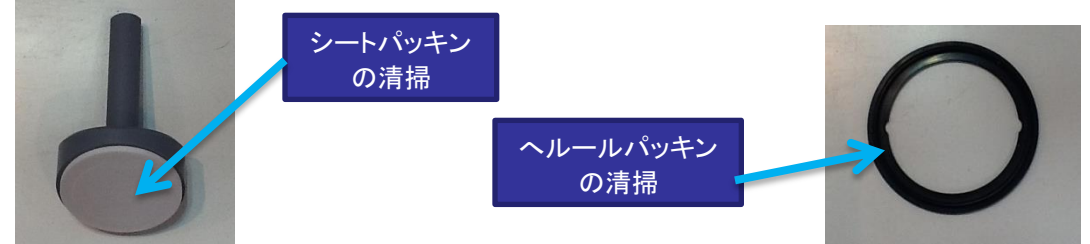
- A. 分解（残圧、液抜き注意！）
- ① クランプを緩めて、取り外す。（落下注意）
 - ② ガイドキャップを上方へ真直ぐゆっくり引き上げる。（液が残っている為、注意願います）
- B. 内部部品の取り出し
- ① スプリングを抜き取る。
 - ② 弁棒部を微少に傾け、液を落水させる。
 - ③ 弁体一式を上方へ真直ぐゆっくり引き上げる。
- C. 点検及び交換
- ① 本体内に異物の無いことを確認
※異物が混入している際は取り除き、清掃もしくは洗浄してください。
 - ② 左図に示す部品の傷・損傷の有無を確認。
 - ③ シートパッキン・ヘルールパッキン・本体ヘルール部の清掃・洗浄もしくは劣化、損傷がある際は交換
- ※①・②の確認にて内部部品の損傷がみられる際は、お問い合わせください。

- D. 再組立
- ① 弁体弁棒を本体に入れ込む。※止水構造上、吐出フランジ側に弁体の先端（薄い部分）が来るように矢印向きにて、ゆっくりと挿入してください。
 - ② 弁体弁棒を微少に回転させ、傾きがなく設置されているか確認をお願いします。
 - ③ スプリングを入れ込む。
 - ④ ヘルールパッキンを本体ヘルール溝部に合わせて置く。
 - ⑤ ガイドキャップは、ピンの位置を本体ヘルールのピン溝部に合わせて差し込み組立てる
 - ⑥ クランプを手締めで締めこむ
- E. 通水準備作業
分解作業後は、必ず「試運転要領書」をご確認頂きながら通水準備作業（呼び水など）をおこなってください。

※バルブの分解を実施する時は、必ず配管内の流体を除去し、圧力を大気圧に戻してから作業を行ってください。

スモレンスキグランドフートバルブ 部品清掃について

- ① シートパッキン・ヘルールパッキン
異物の付着 及び 傷が無いことを確認の上、流水にて洗浄をして柔らかな布などで付着物を取り除いて下さい。



- ② 本体（ヘルール部・弁座面）
ヘルール部 及び 弁座面に異物の付着 及び 傷が無いことを確認の上、流水にて洗浄をして付着物を取り除いて下さい。
- 弁座面・ヘルール部の付着物・傷の確認 及び 清掃作業

- ※組立時の注意事項
- ① 弁体弁棒を左下図のように吐出フランジ側に弁体の先端（薄い部分）がくるように矢印の位置にてゆっくりと設置をお願いします。
 - ② ヘルールパッキンは右下図のように溝の位置をあわせて置き、ガイドキャップはピン位置を本体ヘルールの溝部に合わせて注意して設置願います。

メンテナンス終了後 フートバルブ初期通水方法

